

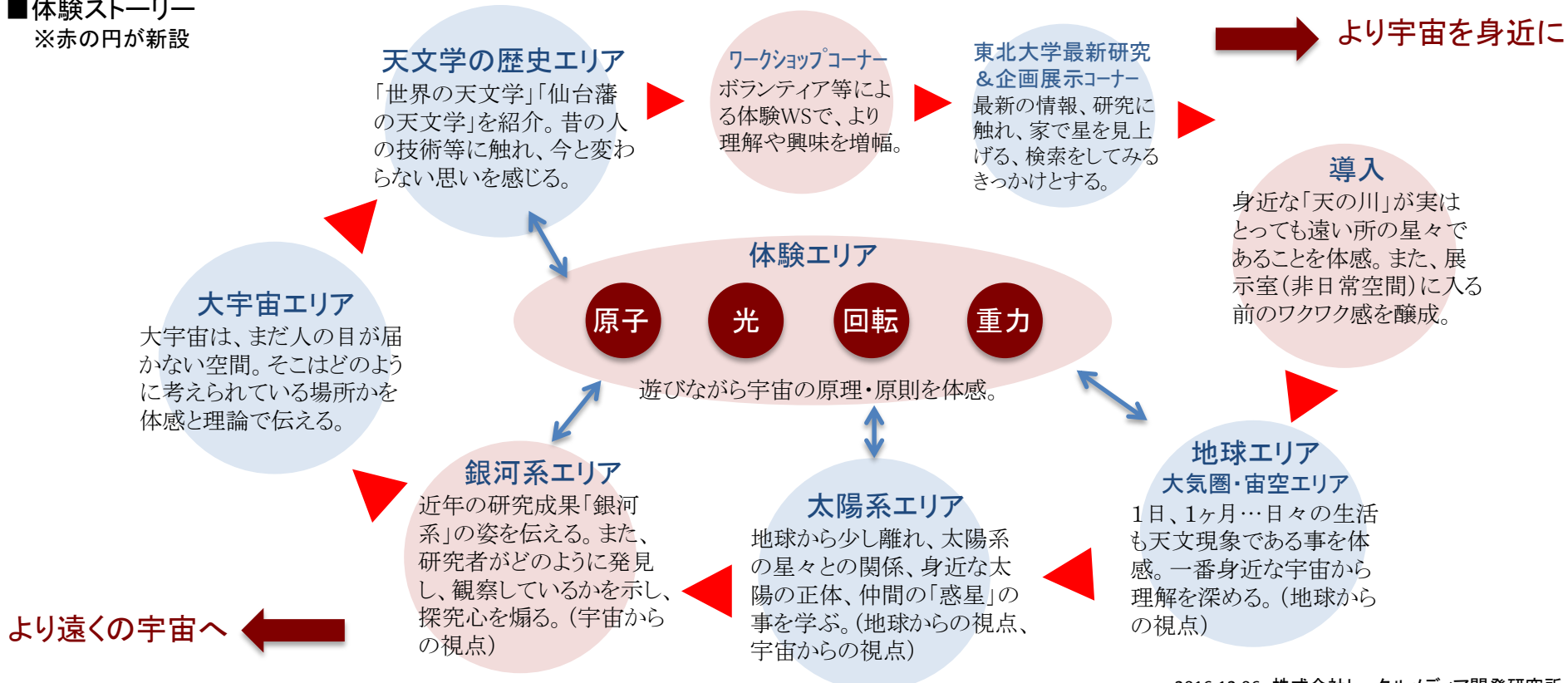
「スペース」から「ユニバース」へ

～より遠くの宇宙へ、そしてより宇宙を身近に。～

■リニューアルポイント

- 10年前にはわからなかった銀河系の姿を紹介するコーナーを新設。
・導入で身近な天の川で銀河を体感。銀河系エリアで詳細を学ぶ
- 宇宙を理解するために必要な基礎原理がわかる、体験コーナーを新設。
- コーナー(エリア)を明確に認識できるような配置とデザインに変更。
- 幼児、学校利用等の学びの段階に対応するしゅみを付加。

■体験ストーリー ※赤の円が新設



リニューアルプランでは、年齢による学びの質や深さ、学校での利用を考慮し、展示アイテムにいくつかの段階を設定しました。

| | | |
|----------------|--|--------------------------|
| 1.「感じる、体感する展示」 | 幼児も含め、宇宙の知識が無くても、見て美しいとか、すごいとか、何だろうと感じられるもの。 | 主に壁面グラフィックや一部の体験装置 |
| 2.「分かる・学ぶ展示」 | 小学生を軸に、読んだり体験することで、覚えたり、理解したりするもの。 | 解説パネル、展示装置、体験装置 |
| 3.「考える・調べる展示」 | 中学生を軸に、より専門的な内容を調べる、スタッフが解説するもの。※外国語対応についても検討中 | タブレットに情報を入れ、提供する ※検討中 |

体験の増強 (WSコーナー)
WSで、知識や興味を深めてもらう他に、スタッフサポーターの活動範囲を広げられる場を設置。解説設備や道具を用意する予定。

体験エリアを増設
幅広い年齢層が理解し楽しめる体験装置を設置。宇宙の原理・原則を体験することで、他のエリアの理解も深める。壁を利用したグラフィックでは、驚きや不思議を感じるような工夫をする。

コーナーを認識しやすく
エリア毎に間仕切りを設置。宇宙のスケール感がでるような、かつきれい、すごいと感じられるグラフィックを設置する。コーナーを分かりやすくするための壁面を「感じる・体感する展示」に活用する。

銀河系エリアを新設
10年間で分かった事などを、グラフィックや体験装置を新規作成して伝える。

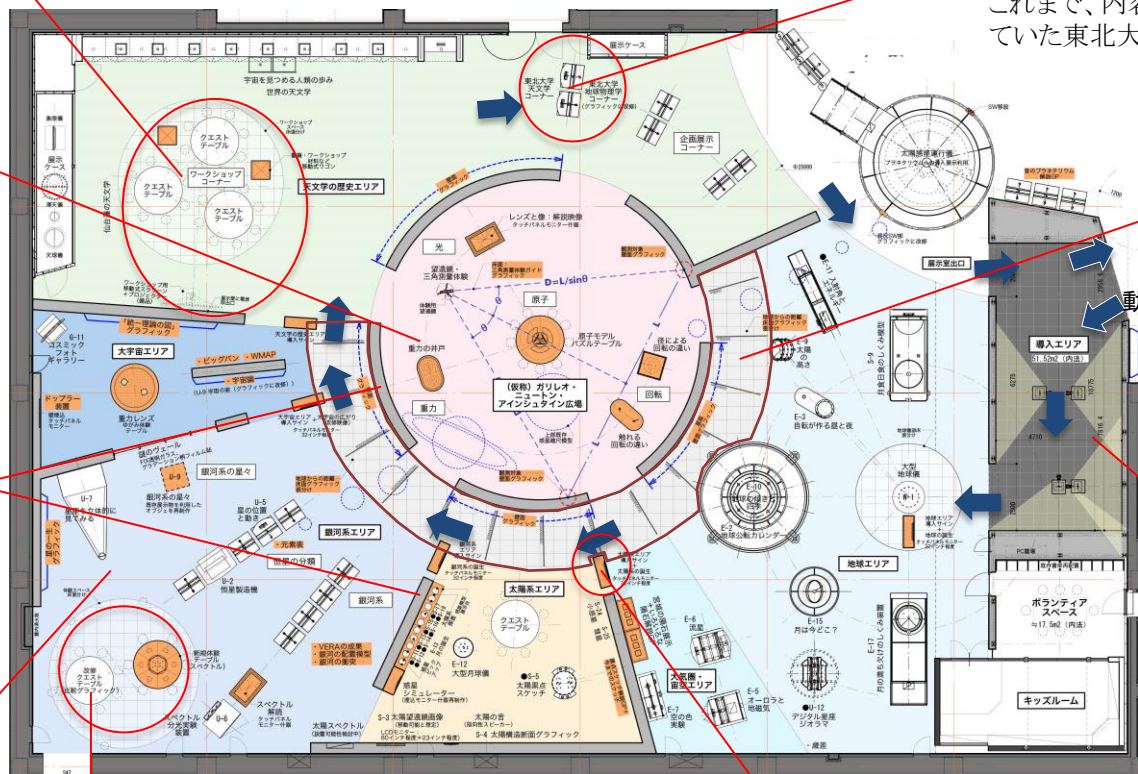
体験の増強 (クエストテーブル)
より体験的に理解してもらうために、クエストテーブルをもっと活用する方向で改修を検討。

最先端宇宙研究として再構成。
これまで、内容に対応するコーナーに分割していた東北大学の展示をまとめて、最先端の研究として伝える。

宇宙スケール
床面に地球からの距離を表す帯を設置 (床貼分け)。地球上のスケールからはじまり、○○光年など各エリアまでの距離を表示する。

導入映像を新設
リニューアルポイントの銀河系を伝える事のはじまりとして、身近な「天の川」の映像を導入に設置。

認識しやすいコーナーサイン
コーナーサインを見やすい位置に設置。各サイン、エリアサインと併せて、以下のものを入れる。
・各コーナーの「成り立ち」を紹介する映像
・宇宙配置図 (どの部分の話かが分かる図)



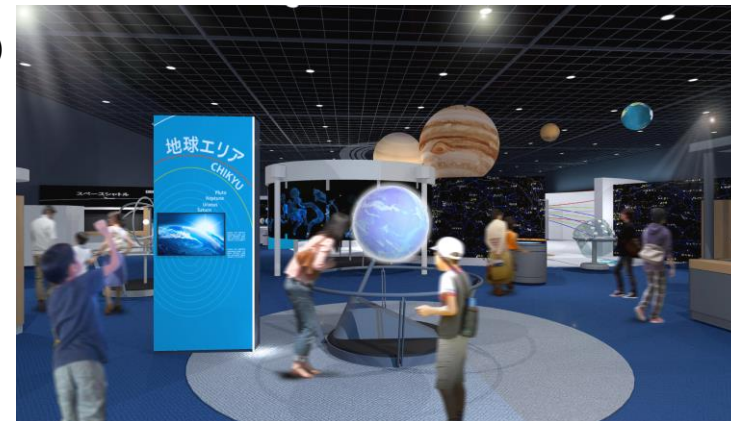


①

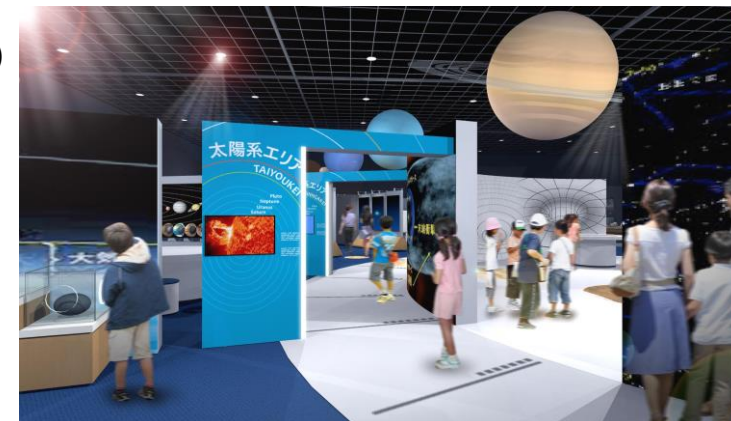
②



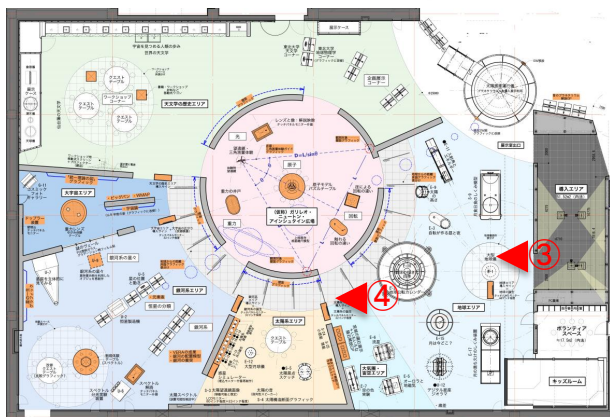
③



④



Key Plan



- ①鳥瞰図
- ②展示室入口
- ③地球エリア
- ④宇宙スケールと太陽系エリア

※このイメージパースは空間把握用の検討パースです。最終的なデザインとは異なります。